



すべてが名勝負！

大山保育所で「すもう大会」が行われました。「負けるな！」「がんばれ！」家族や仲間の熱い声援を受け、寒さを吹き飛ばす名勝負が繰り広げられました。

大山の恵みを受け継ぎ、
元気な未来を拓くまちづくり

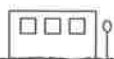
だい せい せん

広
報

3
2012
No.103

主な内容

持続可能な公共交通に向けて	2～7
「福祉タクシー事業」から「タクシー助成制度」へ	8～10
人権のつぼ	11
みんなでやらいや！まちづくり活動報告	12～13
きょういく通信	14～17
うるおい通信	18
診療所待合室・こころの健康コーナー	19
まちの話題	20～21
お知らせ	22～25



持続可能な公共交通に向けて

▲ 4月から運行する予約型交通（仮称）では、愛称・デザイン募集中です。



なぜ見直したの？

本町ではこれまで、「巡回バス」や「日交バス」などで、町内のバス交通を維持してきました。また、福祉施策として、高齢の方及び障がいのある方が町内の移動や町外の通院に利用されたタクシー料金の一部を補助する「福祉タクシー事業」と、心身の状況によってそれらが利用できない方の通院のための「外出支援事業」を行ってきました。

しかし、現在の公共交通のしくみと交通施策では、運行範囲や利用者が限られ、町民のすべての方が平等に利用できませんでした。

このようなことから町では、2年あまり前から、基本となる公共交通のあり方について、関係機関や住民代表にもご参加いただき、公共交通会議で議論し、慎重に検討を重ねてきました。そして、4月からいよいよ「予約型交通」の運行を開始する運びとなったことから、併せて町の交通施策も総合的に見直しました。

これにより、将来に渡って

持続可能な公共交通となります。



どのように見直しを進めたの？

平成22年に実施した全世帯アンケート調査などを基に作成した、町営バスへの予約制導入による効率化、交通空白地域の解消（全ての集落で公共交通が利用できる）及び電気自動車使用による環境保護を柱とした見直し案（詳細は広報だいせん2月号参照）や、本年1月に行った「見直し案への意見」募集の結果をふまえて、運賃割引の拡大などの修正を行い、見直しを進めてきました。このほか、予約型交通の実施により福祉タクシー事業についても制度の見直しを行うこととなりました。（詳細は8ページ）



見直しはこれで終わりのの？

4月にスタートしますが、3カ月間は試行期間と位置づけ、制度の不具合などあれば改めて見直します。また、今後も利用状況などに即して、より効率的になるよう検討・見直しを適宜行います。

見直しの経過

H21年11月 「新公共交通のあり方」とりくみ開始
H22年5月 交通会議委員増員、検討強化・全世帯アンケート実施
11月 アンケート結果に基づく区域運行の予約型交通を中心とした見直し事務局案決定
12月 交通会議法定協議会化、見直し事務局案は制度上の問題により国から再考指導有り
H23年3月 交通会議で見直し2案（路線予約型中心の見直し1案（現制度で実現可）、区域運行の予約型交通中心の見直し2案（特区制度利用））決定

4月 1案は住民意見募集へ
7月 2案は特区に提案
8月 国より2案が可との見解が出る
交通会議で2案の採用を確認
12月 交通会議で2案を基にした町全域を区域運行する予約型交通を中心とした新見直し案決定
H24年1月 住民意見募集
2月 交通会議で住民意見に基づく修正案決定
4月2日 予約型交通スタート



これからの大山町の公共交通

新設

「予約型交通」 (仮称)

➡ 町内全域、全町民が
利用できます。

改定

福祉タクシー事業を改め 「タクシー助成制度」

➡ 65 歳以上、障がいのある
方が利用できます。

継続

※ 8 ページ参照

「外出支援 サービス事業」

➡ 介護保険の要介護と認定
された方や障がいのある方



大山町の交通の 構造は . . .

大山町の交通は、基本の交通機関
のほか、体の状況により基本の交通
機関を利用できない方のための「外
出支援事業」(通院交通)で構成さ
れています。

また、これらの交通にプラスして
一定の条件下にある方の移動費用の
助成を行っています。

☆基本となる交通機関

⇒誰でも利用可

- ・ 予約型交通 (仮称)
- ・ 日交バス ・ JR ・ タクシー



☆体の状況に応じた 通院交通

⇒介護認定や身体に一定程度
の障がいのある方が利用可



外出支援サービス事業



☆体の状況に応じた 移動助成

⇒65 才以上の方、一定程度
障がいのある方が利用可

タクシー助成制度



4月2日(月)から運行を始めます予約型交通(仮称)の利用方法をお知らせします

利用のしかた

ステップ1 準備

事前に利用登録を行いましょよう。

※事前登録は最初の一度だけです



利用するには、利用される全ての方の事前の利用登録が必要です。後日お知らせする利用登録申請書に住所・氏名・年齢・電話番号などをご記入いただき、役場企画情報課または大山支所および中山支所総合窓口課、保健福祉センターなどにお届けください。

ご予約はこちら…3月26日受付開始!

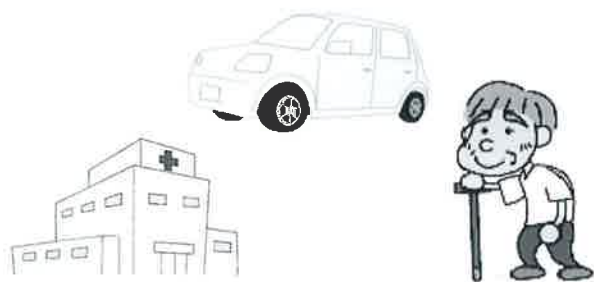
予約センター 8:30~18:30
0800-200-4894

目的地へ

移動

受付

予約



予約センターから指示のあった車が集会所(乗車場所)にお迎えに行きます。

連絡のあった出発時間までに集会所(乗車場所)に行きます。



①.「予約を受け付けました。発車の時間が決まったらご連絡します。」

②.「△△さん、ご予約の便の出発時間は〇時〇分です。集会所でお待ちください。」



利用者は予約センターに電話します。「□□集落の△△ですが、〇時の便で集会所から〇〇医院まで予約します」

*行きと同時に帰りの便の予約も出来ます。

予約センター
0800-200-4894

ステップ2 利用(行き)

降車場所へ

乗車

受付

予約

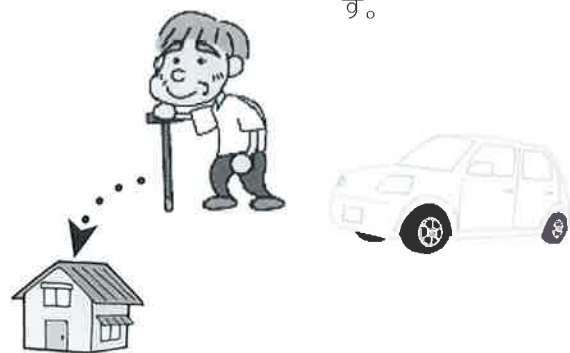
車が□□集会所に着きますので、ここから自宅まで帰ります。

予約センターから指示のあった車が、〇〇医院(乗車場所)にお迎えに行きます。

「予約を受け付けました。〇時×分頃にお迎えに向かいますので、お待ちください。」

*帰りの便は、受付と同時に出発時刻が決まりますが、到着時刻は多少遅れる場合があります。

利用者は予約センターに電話します。「□□集落の△△ですが、〇時の便で〇〇医院から□□集落まで予約します」



予約センター
0800-200-4894

ステップ3 利用(帰り)



予約型交通のデ－タ

基本情報

○運行時間

集落発

7時・8時・10時・11時30分・
14時・16時

目的地発

9時30分・11時・12時30分・15
時30分・16時30分・17時30分・
19時

＊出発時間と所要時間は、乗合のため、予約状況により変わりますので、予めご了承ください。

○運行日

日・祝日と12月31日～1月3日
を除く毎日

○予約センター

☎ 0800・2000・4894

※通話無料

受付時間：運行日の8時30分～
18時30分

○予約受付

乗車1週間前から、便の出発1
時間前。ただし7時・8時の便は
乗車前日まで。キャンセル・予約
の変更は便の出発30分前まで。

＊4月2日運行分の予約は3月26
日（月）8時30分から受付けます。

○利用区間

集落の集会所等（集落ごとの乗
車場所は別途お知らせします）か
ら町が指定する目的地（6ページ
参照）または目的地から目的地の
それぞれの区間

○運賃

町内をA～Dの4つのゾーンに
分け、ゾーンごとに1人1回（片
道）500円です。（最大運賃は
（片道）1,500円）ただしC・
D間は700円。

割引など

☆複数乗車割引

代表者が予約をとりまとめて同
じ便に乗車する場合（まとめ予約）、
利用区間にかかわらずまとめ予約
で乗車される方全員に、ゾーンご
とに100円券を交付。

＊100円券は運賃または回数券
の購入にお使いいただけます。

☆回数券

500円券5枚の値段で6枚
分。

＊回数券は、役場本庁・各支所・
保健福祉センターなわ・人権交流

センター・中高ふれあい文化セン
ター・中山ふれあいセンターで販
売します。販売箇所は順次拡大を
検討しています。

☆高齢者割引

65歳以上で非課税世帯の方が対
象。申請により割引証を発行。運
賃または回数券の代金をお支払
いになるとき、500円ごとに
200円割引します。ただしC・
D間は200円割引となります。

☆障がい者割引

身体障がい者手帳・精神福祉手
帳・療育手帳をお持ちの方が対
象。申請により割引証を発行。運
賃または回数券の代金をお支払
いになるとき、500円ごとに
200円割引します。ただしC・
D間は200円割引となります。

☆乗り継ぎ割引

日交バス佐摩バス停で（から）
予約型交通に乗り継ぐ場合は、
100円券2枚を交付します。
＊100円券は運賃または回数券
の購入にお使いいただけます。
◎割引は組み合わせでご使用には
なれません。回数券と割引は合わ
せてご利用いただけません。

ちよつとアドバース

★お得な乗り方★



複数乗車割引は便が同じであれ
ば、利用区間は問いませんので、
まとめ予約が同じ集落から同じ目
的地間でも、異なる集落から異な
る目的地間でも対象となります。
（例：代表者のA集落の方が予
約・A集落から〇〇医院、B集落
から〇〇銀行を8時の便で予約）
これに回数券を組み合わせてご
利用されると、1回あたりの実質
の運賃がグンとお得になりますの
で、お出かけの際は、お誘いあわ
せてご利用ください。





運賃及び目的地

ゾーンBの庄内地区からのみゾーンB内とみなす区域(ゾーンC①～⑨)

ゾーンB庄内地区からのみゾーンB内、またゾーンDからはゾーンD内とみなす区域(ゾーンC⑫～⑮)

香取弥生

別所

畑

前

飯戸

種原

香取

香取下

赤松

明間

予約型交通運賃表

ゾーン内	500 円	A B C D
目的地が出発地に隣接するゾーン	700 円	C ↔ D
	1,000 円	A ↔ B
		B ↔ C
		A ↔ D
		B ↔ D
目的地が出発地から3ゾーン目	1,500 円	A ↔ C

町が定める目的地

(ゾーンA) ①中山口駅・②佐々木医院・③江原歯科医院・④船木歯科医院・⑤平福薬局・⑥役場中山支所・⑦鳥銀中山支店・⑧Aコープ中山
⑨丸合中山店・⑩下市駅・⑪合銀中山出張所・⑫下市郵便局・⑬下市入口バス停・⑭中山郵便局

(ゾーンB) ①御来屋駅・②御来屋郵便局・③鳥銀名和支店・④合銀名和支店・⑤明石歯科医院・⑥国谷歯科医院・⑦名和薬局・⑧役場本庁
⑨小谷医院・⑩Aコープ名和・⑪キマチリハビリテーション医院・⑫いな薬局・⑬農協庄内支所・⑭名和診療所・⑮名和駅

(ゾーンC) ①大山口駅・②農協大山口支所・③大山口診療所・④小山歯科医院・⑤合銀大山代理店・⑥大山所子郵便局・⑦役場大山支所
⑧Mマート・⑨鳥銀大山支店・⑩菅医院・⑪むきばんだ遺跡公園(だんだんバス接続地)・⑫大山診療所・⑬Aコープ大山・⑭日交バス佐摩バス停
⑮農協大山支所・⑯大山郵便局



ご意見

ありがとうございます！

公共交通の見直しの取り組みに関する意見募集には、お電話・メール・封書または集落での説明会の機会を通じてなどにより、25件のご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。ご意見は、検討の結果、次のとおり計画に反映しました。

○高齢者・障がいのある方への運賃割引を設けました。

↓65歳以上の非課税世帯の方、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方に割引証を発行します。ゾーン内の運賃を200円割引し、300円でご利用いただけました。

○回数券がお得で便利になります。

↓10枚分の料金で11枚の乗車券から、5枚分で6枚の乗車券に改めました。回数券がお求めやすくなるほか、1枚あたりの割引率が10%から16%となり、お得になりました。



○連続予約を可能にしました。

↓これまででは、1回の予約で1日分の予約としていましたが、1回の予約で最大1週間分の予約ができるように改めました。

○目的地と目的地間の利用を可能にしました。

↓利用できる区間を集落の集会所から目的地（医療機関や商店等）の相互間に限定していましたが、集落の集会所等と目的地間のほか、目的地と目的地間もご利用いただけるように改めました。



出前説明会実施中！

「予約型交通（仮称）の利用方法を詳しく聞いてみたい」「割引のことや予約のことについて質問をしたい」などの声にお応えします。現在、ご希望のあった集落やまちづくり会議、公民館事業、各種会合などにお邪魔して出前説明会を行っています。集落単位でも、気の合う仲間4～5人でも、サークルなどの会合後でも結構です。土日、夜間を問いません。ご希望の日時と場所を企画情報課までお申し込みください。

ご案内

現在ご使用の巡回バスの回数券は、販売を3月で終了します。たくさんのご利用ありがとうございました。

販売終了後もお手元に残った回数券は、引き続き、回数券の額面で、4月から運行の予約型交通でご利用いただけます。

なお、運賃の不足分は現金を足してください。（巡回バスの回数券の払い戻しや予約型交通の回数券への交換などは行いませんので、ご了承ください）

予約型交通に愛称・デザインを募集しています！

4月から運行開始する予約型交通に愛称をつけてください。同時に車体に貼るデザインも募集しています。採用の方には記念品進呈！応募に制限はありません。どなたでも何点でも応募できます。住所・氏名・連絡先を記し、愛称・デザインを企画情報課宛にお送りください。

★愛称・デザインの著作権は大山町に帰属するものとし、未発表のものに限りです。

★デザインはポイントでもフルラッピングでも構いません。

★テーマ 乗ってみたいくなるもの・楽しいもの・予約型交通の特徴を表すもの・話題性を得られるもの

★応募方法

【用紙】 指定なし

【方法】

愛称・電話・メール・FAX・郵送または持参

デザイン：メール・郵送または持参

★募集締め切り
平成24年3月7日（水）

★その他 デザイン：車体の色はワインレッドで、車種は日産リーフ（2ページ写真）

【問い合わせ】 企画情報課

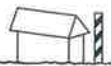
〒689-3211

大山町御来屋328

TEL 0859-545202

FAX 0859-545216

Eメール kikaku@daisen.jp



「福祉タクシー事業」から

「タクシー助成制度」へ



～名前も内容も変わります～

1. 変更の理由

4月から、現在の「福祉タクシー」事業の名称を「タクシー助成制度」に変えるとともに、その中身も大幅に変更します。

今後は、住民のみなさんの交通は、予約型交通（仮称）を含む公共交通機関を基本とし、心身の状況によりそれらの利用が難しい方を対象とした「外出支援事業」をこれに加えたしくみになります。「町がタクシー料金の一部を助成する事業は、それらを補完するものである」という原則に立ち返り、各交通施策のバランスも考慮して制度の再構築を行いました。

現在の福祉タクシー事業は「高齢者の方や障がいのある方を対象に、住み慣れた地域社会で自立した生活が送れるよう支援する」ことを目的とした事業で、対象の方がタクシーを利用されたとき、料金の3分の2を補助するというものです。ほかの自治体には例を見ない手厚い助成内容です。

しかし、新しい交通体系のもとでは「福祉タクシー事業」の対象であった方でも、ある程度元気な方は予約型交通の対象となります。予約型交通などの公共交通機関の利用が

可能な方には、できるだけそれらを使っていただいたり、家族や近隣の方々の助けや支援も含め、多様な資源をいかしていくことも求められます。

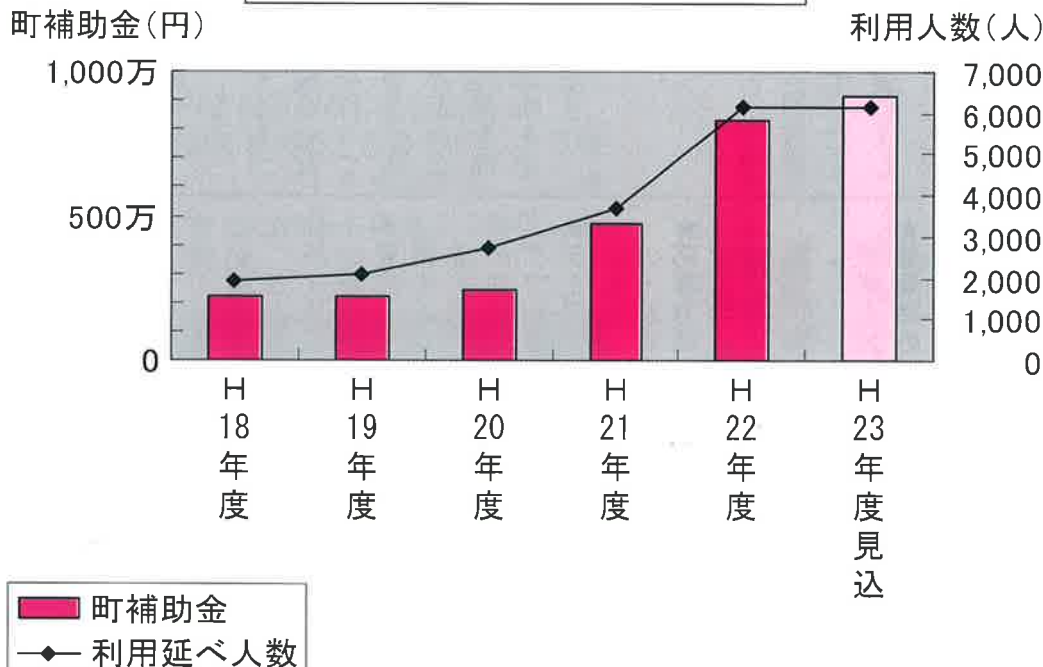
なお、将来的には、町内の交通は予約型交通と外出支援事業のいっそうの充実を図っていくことで対応するものとします。したがって、タクシー料金の助成は、町内エリアの交通施策としては過渡的なものとし、外出支援事業の対象とならない高齢者等の、町外通院のための手段としてシフトさせていく方針です。

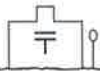
「タクシー助成制度」の料金体系については、特に予約型交通との利便性の差も考慮しながら、均衡が取れるよう慎重に検討しました。

2. 利用の現状は

福祉タクシー事業はドアもドアで、たいへん使い勝手がよいことと、安価で利用できることなどから、利用は年々増大しています。このため財政的に相当の負担となつていきます。今後も進む高齢化等を考慮すれば、将来的に持続させることは困難な状況になっています。

福祉タクシー事業の利用状況



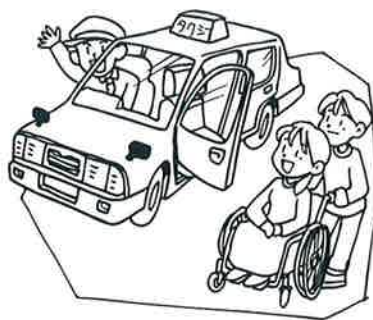


「予約型交通（仮称）」等の 公共交通機関の利用が 難しい方への対応

①長い歩行が難しい方も、できるだけ予約型交通が利用できるよう、大きな集落には予約型交通の乗降場所を複数設置します。

②医療機関への送迎をドアもドアで行う「外出支援事業」の対象となる方（要介護度1以上または障がいのある方）は、こちらをご利用ください。（詳しい内容は下欄の概要をご覧ください）

③右記の②に該当しないものの、乗降場所まで歩けず、同一集落内の家族（子どもさんなど）もなく、経済的にも困窮（非課税世帯）のため一般のタクシーも利用できない方については、状況を精査したうえで、外出支援事業の対象とします。



外出支援サービス事業の概要

内 容 移送用車輛により利用者の居宅と医療機関との間を送迎します。利用回数は週1回を限度とします。ただし、人工透析のための通院は週3回を限度とします。

対象者 ①介護保険の要介護と認定された方
②身体障がい者1級・2級（その他下肢機能障がいについては3級、4級を含む。）、精神障がい、知的障がい等の方

利用料

距 離	利用料（片道）
0～5km未満	200円
5～10km	300円
10～15km	500円
15～20km	700円
20～25km	900円
25～30km	1,000円
30～35km	1,200円

※複数乗車（人工透析の通院のみ）の場合は、片道250円

利用時間

○午前8時30分～午後5時
※日曜日、年末年始は利用できません。

その他

○「タクシー助成制度」との併用はできません。



4月からの「タクシー助成制度」

4月から改定スタートする「タクシー助成制度」の利用条件、「福祉タクシー事業」からの変更点は次のとおりです。

利用できる方

町内にお住まいで、一般の交通機関の利用が困難な方で、次の各号のいずれかに該当する方です。

①高齢者のみの世帯、又はこれに準ずる世帯構成であると認められる世帯に属し、かつ次のいずれかに該当する人

ア 65歳以上の方

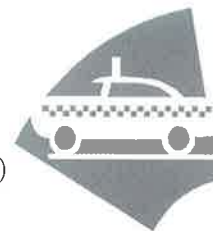
イ 60歳以上の方で、下肢が不自由な方

②障がい者のみの世帯、又はこれに準ずる世帯構成であると認められる世帯に属し、かつ次のいずれかに該当する人

ア 身体障害者手帳をお持ちの方で、手帳の総合等級が1級又は2級（下肢機能障害3級又は4級を含む。）である方

イ 療育手帳をお持ちの方

ウ 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方



利用回数

週1回まで（そのうち医療機関以外の目的地への利用は月2回まで）

その他

「外出支援事業」との併用はできない

「タクシー助成制度」で変わる点

助成額

〈変更前〉 タクシー料金の3分の2

変更

町内外にかかわらず、タクシー代金が
1,000円を超過する部分の2分の1
(1,000円以下の場合には助成なし)

(例) タクシー代金が2,400円の場合
町の助成金=1,400円×1/2=700円

2,400円



行き先

〈変更前〉 ・町内は、限定なし
・町外は医療機関のみ

変更

- ・町内は限定なし
- ・町外は医療機関のみ。ただし、健康保険適用外の医療機関（整体、カイロプラティックなど）は除外
- ・鳥取県西部及び中部の市町村の範囲

「予約型交通（仮称）」と
「タクシー助成制度」の
併用は可能です



「外出支援サービス事業」と
「タクシー助成制度」に関するお問い合わせは…

福祉介護課 ☎0859-54-5207

小地域懇談会を

振り返って

今年度も区長さんや自治会長さん、社会教育推進員のみなさんの協力により「自然災害と人権―地震、雷、火事、人権!」をテーマに、10月中旬から12月中旬まで、小地域懇談会を行いました。また、300人を超える推進者のみなさんには、大変お世話になりました。

今回はアンケートをもとに、その概要について報告します。

〈参加者について〉

参加者数は1,302人、参加率は24・4%でした。普遍的な視点からの取り組みを始めて3年ですが、次第に増加しています。

参加者の男女比を見ると「男性63・0%」「女性30・6%」で、男性が、女性に比べて2倍以上という結果でした。男女共同参画が推進されている中で、女性の方の参加が望まれます。

参加者の年代では、「60代36・1%」「50代26・5%」「70代15・6%」でした。仕事や家庭の関係もあると思いますが、若い人の参加が望まれます。

〈参加回数について〉

「初めて〜5回」までが51・9%であり、集落によっては参加者の固定化が見られるようですが、全体的には新しい方の参加も多くあります。

〈話し合いの内容について〉

「とてもよかった18・8%」「よかった65・8%」という結果でした。84・6%の参加者から肯定的な評価をいただきました。一昨年から進めている人権そのものについて学ぶ「普遍的な視点からの学習」の成果だと思います。

〈話し合いへの参加について〉

77・9%の方に肯定的な評価をいただきました。参加型学習のよさを理解していただいている結果だと思います。

〈自分を振り返って〉

「とても参考になった16・8%」「参考になった66・5%」という結果でした。83・3%の方に肯定的な評価をいただきました。小地域懇談会を続けてきた成果だと思います。

アンケートの詳しい内容は、大山町同推協の広報誌「ぬくもり」17号でお知らせする予定です。

「高齢者の虐待」について知っていますか？

☆高齢者の虐待とは、家族などの介護者による次の行為をいいます。

身体的虐待	たたく、つねる、ける、ベッドに縛りつけるなど	
介護・世話の放棄	空腹、脱水、栄養失調のままにする、ごみを放置するなど劣悪な住環境の中で生活させるなど	
心理的虐待	怒鳴る、ののしる、悪口を言う、無視する、意図的に恥をかかせるなど	
性的虐待	懲罰的に裸にして放置する、キス、性器への接触など	
経済的虐待	本人のお金を必要な額渡さない・使わせない、本人の不動産や年金、預貯金などを本人の意思や利益に反して使用するなど	

☆虐待かなと思ったら…

「高齢者虐待防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」にもとづいて市町村に通報してください。通報者の個人情報には秘密にされるため、不利益を受けることはありません。

☆高齢者虐待を防ぐために…

介護は想像以上に大変です。いろいろな介護保険サービスを使って、介護による心身のストレスを減らすことも大切です。頑張り過ぎない介護をしましょう。困った時は、お気軽に地域包括支援センターや担当のケアマネジャーにご相談ください。

連絡先 地域包括支援センター ☎0859-54-2226



◀野口昌作会長
(上中山地区)

みんなであらいたい!

(第2回)

まちづくり

活動報告

まちづくり、「実行」のステージへ

◆上中山地区会議野口会長インタビュー◆

本年1月から第Ⅱ期の「まちづくり地区会議」がスタートしました。このコーナーでは各地区(旧小学校区)の会議の会長さんに目標や本年の抱負などを語っていただきます。第1回目は上中山地区の野口昌作会長のインタビューをお届けします。

―昨年までの活動を振り返って―

(野口会長) 上中山地区ではこれまでは集落の活性化に重点的に取り組み、地区会議では、集落の課題や将来のあるべき姿など情報・意見交換を進めてきました。八重集落や樋口集落では、「集落の健康診断」を踏まえて、「大山町地域活性化支援事業交付金」を活用し、交流の活性化のための集会所、広場の環境整備やグラウンドゴルフ場整備による世代間交流などの取り組みが進められました。

また、八重集落では、多彩なイベント(初詣の参拝者へのおもてなし、花見、運動会、盆踊り、まんどい、文化祭、賽の神さん)を通じて、集落のみなさんがたくさん集い、交流

により互いの存在感を確認し、達成感を共有できたと思います。

―今後の抱負・具体的な活動の検討状況―

(野口会長) 上中山地区では1月に第1回目の地区会議を開催し、第Ⅱ期の取り組みとして、「好きです上中山」をキャッチフレーズに、産業(所得)、福祉(助け合い)、コミュニティ(イベント)の3つの分野でプロジェクトが提案され、議論を進めています。

産業分野では、所得を獲得する機会が乏しいことが若者の流出につながっているとの認識の下、清流甲川を地域おこしの共通のシンボルとして、減農薬、減化学肥料の米の栽培販売が話題になりました。福祉分野では、高齢化が進む地域の助け合いとして、買い物や宅配サービス・除雪の支援など、コミュニティ分野では地区内の各集落の行事の情報を共有し、地区全体で盛り上げていくことなどが議論されました。また、子どもたちが牛に触れ合う機会をつくることや蛍祭りの実施などを熱心に話し合いました。地区内で情報共有を図るために各集落の行事をまとめたカレンダーの作成も提案されました。

―第Ⅱ期の取組を進めるに当たっての課題―

(野口会長) まちづくり活動をいかに「実行」に移していくかであり、集落でまちづくりに興味のある方、将来の上中山

を憂いておられる方をいかに巻き込み、「実行できる体制」を構築していくかが重要だと思います。もちろん、各集落の区長さんの賛同を得るための努力もしていかなければならないと思います。また、婦人団体や老人クラブなど様々な分野の団体の協力を求めることも必要であり、上中山地区でその活動が広く認知される地区会議でありたいと思います。そのため、活動の拠点となる場所を確保することも必要と考えます。

まちづくりは今の段階から実践していかないと、地域間でどんどん差がついていくことから、危機感を持ってみなさんと力を合わせて取り組んでいかなければならないと思っています。



▲地域の伝統行事・虫送り(束積)



出向きます！ 出張座談会

～御来屋4区出張座談会
レポート～



○まちづくり出張座談会

まちづくり委員さんと役場担当者が地域に出向いて、まちづくりについて学び、話し合う「まちづくり出張座談会」がスタートしました。その第1回目を1月24日に、御来屋4区で行いました。

座談会では役場担当者が御来屋地区の人口の動きなどを説明しました。その後、まちづくりに対する参加者の想いや御来屋4区、御来屋全体の今後のまちづくりについて活発な意見が交わされました。

※訂正

2月号の「まちづくり活動報告」(4ページ)中、「本町の人口は約1万5千人」とあるのは「約1万7千5百人」の誤りです。訂正してお詫びします。

参加者の皆さんのまちづくり、
地元への想い

「まちづくりとは地域の『つながり』づくり」

まちづくりとは、近所、区内の人と挨拶・声かけができる、区内の住民さんがどういう状態にあるか共有されている、地域でイベントを開催すれば多くの人が集まる、つまり、地域内のつながりを強化することではないでしょうか。(50代男性)

「御来屋4区のまちづくりは？」

御来屋地区では高齢化や担い手の減少が進んでいるが、そうした社会の流れを受け止め、それでも元気なまち、住んでよかったと思えるまちをつくるためにがんばろうというのが御来屋4区のまちづくり。

まちに戻りたいと思っている人もおり、地域が元気だと人も帰ってくる。いかに楽しくまちづくりを進めるかが重要だと思います。(50代女性)

「できるところから始めよう！」

かろうじて続いている行事を盛り上げるなど小さな積み重ねが必要。御来屋4区のまちづくりのキャッチフレーズは「できるところから始めよう」がふさわしい。(50代男性)

「御来屋4区が率先！」

地域が元気になるためには御来屋全体の底上げが必要。そのため4区が率先してまちづくりの実践を行おう。(50代女性)



参加者インタビュー

今出 保子さん

まちづくりには、若い人や女性の参加が必要で、こうした出張座談会を各区で何度も開催し、御来屋全体でまちづくりの機運を醸成していくことが必要と感じました。

また、御来屋では高齢化が進展しており、高齢者の買い物支援など支え合いの仕組みや交流できる拠点づくりが必要だと思います。まずは、4区から実践します！



○御来屋4区「女子会」の設立！」

まちづくりには女性の参加が不可欠であり、御来屋地区会議のメンバーに女性を加えることや、女性の視点を反映したコミュニケーションづくりを進めるため、御来屋4区内の有志により「女子会」の設立が検討されていることが紹介されました。

○ぜひ開いてみませんか？

「まちづくり出張座談会」は、集落での開催はもとより、団体・グループでの開催や御来屋4区、近所、どんな少人数の集まりでも開催可能です。まちづくり委員さんと役場職員が出向きます。ご希望がございましたら左記の担当までご連絡ください。

◆問い合わせ先

企画情報課・未来づくり戦略室
☎0859-545202

読書の面白さ、大切さを発見

第7回生涯学習大会 第5回本のあるまちづくり大会

1月29日(日)、保健福祉センターなわで、第7回生涯学習大会兼第5回本のあるまちづくり大会を開催しました。

会場では、百人一首大会、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングの実践発表、女優で脚本家の中江有里さんによる「読書の面白さ、大切さ」と題した講演、保育所年長児が作った絵本や小・中学校での読書活動の展示など、盛りだくさんの内容を実施。町内外から約500人の方が参加され、本にふれること、読むことの楽しさを知る機会となりました。

また、会場で学校給食を有料で提供。来場者は「地産地消の給食」に興味深く味わいました。



中江さんから、読書の大切さをご講演いただきました



勝負は一瞬で決まります(百人一首大会)



小・中学校の読書活動を紹介しました



子どもたちの手づくり絵本がいっぱいです(保育所年長児手づくり絵本展示コーナー)



絵本の読み聞かせ(上)やストーリーテリング(右)の世界に引き込まれました



百人一首大会の成績		優勝	準優勝	3位	同
		SNK (大山西小)	汐田新菜・井上詩織・中嶋一貴	戸野真菜・鷲見皆果・角田真子	岩本大輝・中嶋大貴・入江海帆
			三びきのこぶた2012 (名和小)	チーム☆K (大山西小)	チームOYATU (大山西小)
					大谷優斗・山根汐里・角田妃吹

～学ぶ楽しみ・

つな
繋がるよろこび～

大山カレッジ

24年度生徒募集中!

大山カレッジは大山町に住む、概ね50歳以上の方に参加していただく大山町オリジナルの大人の学校です。

週に一度中山中学校へ通い、午前中に中学校程度の教科の学習をします。

忘れかけていた漢字や英単語などを思い出すことで脳が活性化されるとともに、クラスの仲間とのふれあいが心を豊かにするとたいへん好評です。

理科の授業風景



あなたも、一緒に大山カレッジで学びませんか。
なお、今年も3月1日(木)・8日(木)の授業を公開しています。

大山カレッジに少しでも興味のある方は、一度教室をのぞきにきてください。

大山カレッジについての内容、入学の申し込み、公開授業参観など詳細については中山公民館へお問い合わせください。☎0858-58-2334

大山カレッジ生徒の声

- 入学したもののどんな授業なのか不安だった。でも授業は分かりやすく、新しい発見があっておもしろい。
- 好きなことだけではなく、苦手なことにも向き合うことの大切さを知ることができた。
- 中学生とあいさつを交わすことができてうれしい。
- 新しい出会いによってそれぞれのよさを知ることと、自分を見直すことができた。
- 人のつながりが増えたのが一番よかった。



▲23年度修学旅行(関谷学校)

大山町の魅力を
体感しました
人材育成交流事業
旧大山町と沖縄県嘉手納町が、ともに国体のソフトボール会場になったことが縁で、毎年夏と冬に児童が相互に訪問しているこの事業。24回目の受け入れとなる今回は、沖縄県嘉手納町の小学5年生16人が1月30日から3泊4日の日程で町内を訪れ、町内8家庭にホームステイしました。期間中は、中山小学校を訪問してお互いの出し物発表やゲームを行って交流を深めたり、だいせんホワイトリゾーでスキーを体験したりして、大山町の魅力をたくさん体感しながら、交流を深めました。



▲中山小児童のマーチング披露で歓迎を受ける嘉手納町児童



▲大きな声で「ホーイホイ!」(鳥追い)

子どもたちは春の七草についての説明を受けた後、うっすらと雪が積もる中、実際に戸外で七草を採取したり、地域に伝わる鳥追いを体験したりしました。
また、採取した七草を使って作った七草がゆを参加者全員で食べて、今年の無病息災を祈念しました。

これは、地域の伝統行事を子どもたちに体験してもらおうと、毎年行っている恒例の行事です。
1月7日(土)、大山公民館では「鳥追いと七草」を行いました。

みんなが健康で
暮らせまそうに!
伝統行事
「鳥追いと七草」

新しい保育園を お披露目します

～中山みどりの森保育園・
大山きやらぼく保育園～



▲中山みどりの森保育園の新園舎

今年4月から開園する

「中山みどりの森保育園」と「大山きやらぼく保育園」

の施設見学会を、3月25日（日）の午前9時30分から午後1時まで行います。

当日は、園児の演技や餅の配布、日ごろ園児が行っている外国語活動の体験など、楽しい催しを予定しています。

なお、当日の主なスケジュールは次のとおりです。

○大山きやらぼく保育園

- ・ 9時30分 見学会オープン
- ・ 10時 園児の演技
- ・ 演技終了後 餅の配布
- ・ 随時 外国語活動体験
- ・ 展示（子育て支援センター）
- ・ 13時 見学会終了

○中山みどりの森保育園

- ・ 9時30分 見学会オープン
- ・ 11時 園児の演技
- ・ 演技終了後 餅の配布
- ・ 随時 外国語活動体験
- ・ 展示（子育て支援センター）
- ・ 13時 見学会終了

おじいさん・おばあさんと遊んだよ！

～老人クラブとの交流～

名和保育所

名和保育所では、地域の老人クラブの方と交流を続けています。今年度は6月にちまきづくり、10月に運動会、そして1月には正月遊びをしました。

1月11日（水）のお正月遊びは、遊戲室に子どもたち全員が集まり、「お手玉」「けん玉」「コマ」「おはじき」の4つのコーナーに別れて、おじ

いさんやおばあさんに教えてもらいながら、一緒に遊びました。

お手玉コーナーでは、おばあさんが3個を片手で投げながら取るところや、4から5個のお手玉を両手でされるのを見て驚いたり、おばあさんを相手に、投げたり取ったりして楽しく遊んでいました。

真剣な顔

キラキラ輝く目

そして笑顔が

コマのコーナーでは、おじ

いさん、おばあさんに教えてもらっている時の子どもたちの真剣な顔、そしてできたときのキラキラ輝いている目、笑顔はとても素晴らしいです。また、子どもたちに接しておられる時の、おじいさん、おばあさんのとてもやさしそうな笑顔を見ていると、こちらもうれしくなります。

おじいさん、おばあさんが、帰られる時には「とても楽しかったです」と話してくださいます。これからも、楽しい交流を続けていきたいです。



▲えいっ！おばあちゃんみたいに上手くなりたいな（お手玉遊び）

▲よーに見とれよ（けん玉遊び）

交流を続けていきたいです。

ラージボール卓球

体験して
みませんか

総合型地域スポーツクラブ「スポーツしよい大山」と大山町体育指導委員連絡協議会の共催で、「ラージボール卓球」体験会を行います。どうぞ気軽にご参加ください。

★ラージボール卓球は、通常の卓球に比べてボールが大き

く、ネットも2cm高いため、ラリーが続きやすくなっています。

※参加料は無料です
※卓球ラケットをお持ちの方はご持参ください。

◆日時 3月10日(土)
13時30分～

◆会場 名和トレーニングセンター

◆講師 林原謙二郎さん

◆申込先 「スポーツしよい大山」事務局 (☎0859・54・5212)



▲熱心に指導を受ける参加者

1月14日(土)、名和トレーニングセンターでバドミントン教室が行われました。

これは、総合型地域スポーツクラブ「スポーツしよい大山」が実施した教室で、県内外で活躍するトップアスリートを講師に迎えて、指導を受けるものです。

当日は、町内の小中学生を中心に約50人が参加し、鳥取敬愛高校講師の清水隆志さん

や県内バドミントンチームで活躍中の3人の選手から、話を聞いたり実際に打ち合ったりしながら直接指導を受け、それぞれに技術のレベルアップを図りました。



▲講師と打ち合っの練習

トップアスリートに学ぶ

活躍中の指導者を迎えて

バドミントン教室



▲ボウリング教室の様子

「スポーツしよい大山」では、地域のみなさんがスポーツを通じて健康に暮らすことができるよう、バドミントン教室のようなイベントを行ったり、ウォーキングやボウリングなどの定期的な教室を実施したりしています。

クラブ会員は、各教室の案内やイベントのお知らせが届くほか、クラブが実施するイベントの参加料優遇などを受けることができます。

現在、24年度の新規入会を受け付けています。入会についてはクラブ事務局までお問い合わせください。

◎会員以外の方の見学や体験入会も受け付けています。

◆会費(年会費)

一 一般 3,000円
中学生以下 2,000円
(スポーツ保険代を含む)

※年会費とは別に、種目ごとに部会費が必要です。詳しくはクラブ事務局へお問い合わせください。

◆賛助会員
一口1,000円

※クラブ目的に賛同し、応援いただける団体・個人

◆「スポーツしよい大山」クラブ事務局
大山町社会教育課内
☎0859・54・5212

スポーツしよい大山

24年度新規会員募集中

蔵書点検のはなし

1月23日から始めた「特別蔵書点検」は、分館も含めて2月8日に終了しました。休館中はご利用のみなさまにご迷惑をおかけしました。

ところで、「蔵書点検って何？」と疑問に思われる方に簡単にご説明します。

○本館は、月末木曜日に休館して「蔵書点検」をしています。正しい場所に本があるのかを調べ、書棚を整理整頓します。

○本館分館とも、年1回「特別蔵書点検」を行います。すべての本について携帯端末機を使って、所在の確認をし、不明の本をさがします。さらに、書庫の整理や傷んだ本の修理などを行います。

お求めの本を、正しく迅速に提供するための必要な作業ですので、ご理解ご協力をお願いいたします。



お願い

まもなく進学や就職の季節です。部屋の片づけなどで返却期限の過ぎた図書館の本が見つかりましたら、返却をよろしくお願いいたします。

図書館行事

3月10日(土)、11日(日) 9:00~17:00
「雑誌/サイクル市」 大山分館

職員おすすめの本



「あなたは誰? 私はここにいる」 姜尚中著 集英社新書

政治思想史の研究者である作者は、2年間テレビ番組で美術案内の司会をしていました。その時に会った美術品を中心に独特の視点で案内しているのが、本書です。

この本を読んで、以前広島で「トレチャコフ美術展」を見たとき、イワン・クラムスコイが描いた「忘れぬ人」の前で動けなくなった理由がやっと分かりました。「あなたは誰?」と絵に鋭く問いかけられたにもかかわらず、「わたしはここにいる。ここに立っている」と自分の生き方を示すことができなかったからです。

ぶれない生き方を求める人生探求の本でもあります。(ふ)

図書のご案内

一般・文学

- ★親鸞 激動篇上下/五木寛之
- ★夢違/恩田陸
- ★いのちの理由/さだまさし
- ★これでおしまい/佐藤愛子
- ★不惑剣/高橋克彦
- ★私の愛した男について/田口ランディ
- ★DX型ディスレクシアな僕の人生/藤堂高直
- ★ぐらぐら少年/中島敦彦
- ★雨の背中/中場利一
- ★梨の花咲く町で/森内俊雄

その他

- ★老いの覚悟/下重暁子
- ★山本五十六/手嶋龍一
- ★ゆるる死刑 日本とアメリカ/小倉孝保
- ★そうなんだ!アレルギー/眞鍋穰
- ★戦いの“基力”/中野寛也

児童書・絵本

- ★魔狼、月に吠える/香月日輪
- ★11号室のひみつ/ヘザー・ダイヤー
- ★願かけネコの日/那須田淳
- ★でんぐりでんぐりでんぐりこ/長野ヒデ子

診療所
待合室

更年期を考える

名和診療所所長

藤田 良介

更年期障害という言葉を知っている方は多いと思います。ホルモンバランスの崩れが原因と考えられますが、ちょうど家庭・仕事・病気などのストレスが非常にかかりやすい年齢の時期に見られます。

東洋医学では体のエネルギーを腎気（じんき）と呼びます。生まれたときに与えられ、30代頃にかけてピークになるようです。女性では40代から50代にかけて急激に減少します。男性は40代から60代にかけて徐々に減っていくので、男性にも更年期はあるようですが、女性のように表に出てきにくいということがあ

るかもしれません。女性の場合、東洋医学的には「気逆（きぎやく）」と呼ばれる症状が多く、イライラしたりのぼせたり（足は冷えるけど頭はのぼせる）、動悸がしたりめまいがしたりします。

男性の方は「気鬱（きうつ）」とよばれる症状が多く、落ち込みや体のだるさ、性欲減退が出やすいよう

です。

更年期を過ぎ、高齢者と呼ばれる年代になると、いよいよエネルギーが減ってきます。



この頃になると気持ちだけでなく体に様々な症状がでます。手足がほてって眠れなかったり、トイレが近くなったり、便がすっきりでなかったり、腰が痛くなったりします。経験的にはのどや胸の違和感を訴えられる方が意外と多いような気がします。年のせいといえは年のせいなのですが、東洋医学的にはエネルギーが枯れた状態と捉えられます。ストレスがあると、このようなエネルギーの減りが早くなりますし、また、趣味があつたり、運動をしたり、たくさんおしゃべりをする仲間がいる方はエネルギーが再び充電されるのではないかと思います。

そして、そういったなかでもっとも重要なのは食事です。エネルギーの源は食事ですので、偏りのないバランスのよい食事を心がけましょう。炭水化物（米・パン・麺類）や砂糖、アルコール、塩の取りすぎは体にとってエネルギーを消耗しやすい状態となりますので気をつけましょう。



こころの健康コーナー こころの健康に関連する内容を掲載します。

こころの健康カルタ：心の健康について正しい知識を持ていただき、より健康な町になることを願って作成しました

■自殺（自死）は自由な意思や選択の結果ではなく、様々な悩みにより心理的に追い詰められた末の死といわれています。

また、自殺企図者（自殺を圖った人）の75%に精神障がいがあり、その約半数がうつ病等だったという報告もあります。多くの自殺（自死）は心理的に追い込まれた上に、うつ病等の精神疾患のために、正常な判断を行うことができない状態であったと考えられます。

■うつ病患者の4人に3人は医療機関を受診していないとの報告もあります。これらの人を受診につなぐことは、自殺（自死）を防ぐことにもつながります。

■自殺予防のためには、うつ病の予防、そして、みんながうつ病について正しく理解し、早く気づき、適切な治療につなぐことが大切です。

鳥取県パンフレット「生きる・つながる・支えあう」

ち
ちよつとまで！
解決策は
ひとつだけ？

（投稿くださった方）
愛育委員会さん



（イラスト）
長谷川由美さん

うつ状態を伴う心の病気で、自殺（自死）を選択してしまう人は大勢います。世界保健機構（WHO）は、うつ病、アルコール依存症、統合失調症の3つの病気だけでも、早期に発見して適切な治療を行うことができれば、自殺率を下げる余地は十分にあると繰り返し強調しています。

保健同人社「こころのSOSに気づいたら」

「あなたのまわりを見回してください。あなたの力で救えるいのちがあります。」
：平成22年度自殺予防週間広報ポスター標語。
9月10日の世界自殺予防デーに因んで毎年9月10日からの1週間を自殺予防週間として設定。

「自殺総合対策大綱」

た
大切な
命をすくう
思いやり

（投稿くださった方）
山本 浩司さん



（イラスト）
長谷川由美さん

「こころの健康カルタ」の利用について

日々の暮らしの中で大事にしたい言葉や行動が読み札になっています。心の健康づくりの一環として、このカルタを保健課で貸し出しています。使い方も説明しますので各種会合、地域の行事に活用してみませんか？詳細は下記問い合わせ先までご連絡ください。

おしらせ 『こころの健康フェア』

平成24年3月25日（日） 12:30～17:00 場所：保健福祉センターなわ
講演、トーク&ライブ、アロマコーナーなどのイベント。託児もあり託児希望の場合は3月8日（木）までに申し込みが必要です。>詳しくはチラシをご覧ください。

3月は全国的に「自殺対策強化月間」です。
（例年、3月は月別自殺者数が最も多くなっています）

<問い合わせ先> 保健課 ☎ 0859-54-5206

カウントダウンイベントin大山

平成23年12月31日、大山寺参道にある梅之丞でカウントダウンイベントが行われました。このイベントは「大山若手の会」が実行委員会を結成し、企画したもので今回で8回目になります。

午後11時30分頃、大山寺参道には県内外から若者を中心に約100人が集まりました。日付が変わる午前0時が近づくと、実行委員会の合図によって全員でカウントダウン。そして、新年を迎えると、かがり火からたいまつに火を



雪の中をたいまつ行列が静かに進みます

豪雪から一年ぶりの再会 ～岡～

昨冬の豪雪時、国道9号線沿いに位置する岡集落では、その非常事態に岡公民館を避難所として開放し、雪で動けなくなった観光バスのツアー客らに有志が食事を提供するなど、救いの手を差し伸べました。岡集落へは後日、お礼の感謝状やお菓子などが届けられたそうです。

あれから一年。平成23年12月31日、岡公民館に避難したバスツアー客の1人、太田徹さん（東京都）が、あの日と同じ旅程のツアーに参加していました。旅行会社の特別の計らいで5分間だけ岡に停車することになりました。実は停車するまで、太田さんには、このことは知らされていなかったのです。

旅行会社から、通過予定時刻などあらかじめ連絡を受けていた岡のみなさんは、停車場所に待機して、太田さんを迎えました。いつか、お礼の気持ちを直接伝えたいと思い続けていた太田さんは、このサプライズに感激。5分間という短い時間でしたが、互いに感謝の言葉を掛け合い、再会を喜びあいました。

岡で民生委員を務める大西典子さんは「『感謝する気持ちの大切さ』を実感する、心に残る5分間でした」と今回の再会について、感慨深く話されました。



▲写真中央の男性が太田さん

灯して約30人が大神山神社奥宮へと行列を作って出発しました。奥宮へ続く石畳は、さながら雪の回廊となり、たいまつが明かりに照らされて幻想的な空間になっていました。主催した実行委員会は、「夏山開き祭で神社から降ろした火を、冬に元の場所へ戻すという意味をもたせて、この行事を行っています。次はたいまつをもっと増やして、より長い行列を作りたい」と意欲的でした。



▲「今後も活動に励みます」と語る黒田さん（右）

厚生労働大臣表彰

おめでとうございます

このたび、大山地区で活動されている「食事サービスボランティアふきのとう」が、厚生労働大臣表彰を受賞されました。

同グループは、安否確認をかねて独居の高齢者にお弁当を届ける配食サービスを、20年あまりにわたって行っています。このボランティア活動が、地域住民の福祉に大きく貢献していると高く評価されたものです。

グループの代表を務める黒田ノリ子さん（坊領）は「平成元年から活動をスタートし、あつという間に20年が過ぎました。今回このような表彰をしていただき、うれしい一言に尽きます。地元でとれるものを使い、喜んでもらえる味つけを心がけています。お弁当がおいしかったと言ってもらえるときが一番の喜びです」と笑顔で話されました。

地域の安全は

自らの力で

〜御来屋10区〜

御来屋10区自主防災会が、(財)自治総合センターから宝くじの普及広報事業としてコミュニティ助成事業助成金を受けて防災倉庫などの防災機材を整備しました。



▲万一の災害に備えて

早期に自主防災組織を設立した御来屋10区は「地域の安全は地域で守ろう」と、いろいろな防災活動を行っています。

このほど整備した防災倉庫には、救助機材や発電機などを備えており、災害が起きた場合には、地域の被害を最小限に抑えるため威力を発揮することでしょう。

静かに火花散る！

新春囲碁将棋大会

1月9日(月)、新春囲碁将棋大会が中山公民館で行われ、愛好者が盤上に火花を散らしました。
各部門の優勝者は、次のとおりです。

一般囲碁の部

A級 西山寛邦さん(押平三区)

B級 福留禎治郎さん(福尾)

一般将棋の部

圓田章三さん(林之峯)



▶白熱した戦いです

祝 100歳

おめでとうございます

1月5日に吉田きのさんが、1月29日に稲坂竹野さん、また、2月1日には大口みさほさんと今年に入って、3人の方が、めでたく百歳の誕生日を迎えられました。



▲稲坂竹野さん



▲吉田きのさん

皆さん、とてもお元気に施設での生活をゆったりと楽しんでおられます。それぞれ入所する施設で、森田増範町長から記念の品を受け取られると笑顔でお礼を述べられました。



▲大口みさほさん

大山町地下水調査検討委員会を設置

この委員会は、本町における地下水が豊かな森林で長年にわたり蓄えられた大山の恵みとして、町民共通の貴重で限りある財産であることに鑑み、持続可能な利用に向けた地下水の調査検討を目的として設置しました。
1月26日に第1回の委員会を開き、委員会設置の経緯、委員長及び副委員長の選任、大山町における地下水採取の現状について報告しました。委員は次のとおりです。

- 委員長 檜谷 治
(鳥取大学大学院工学研究科教授)
- 副委員長 持田 光雄
(鳥取県さく井協会会長)
- 委員 香川 敬生
(鳥取大学大学院工学研究科教授)
- 森本 詔照
(鳥取県さく井協会事務局長)
- 田倉 恭一
(鳥取県西部総合事務所 生活環境局局長)
- 森田 増範 (大山町長)
- 小西 正記 (大山町副町長)
- 山根 浩
(大山町教育委員会事務局教育長)



住民生活課から



◆問い合わせ先 住民生活課
☎0859-54-5210

国民健康保険

高齢受給者証を

お届けします

高齢受給者証の負担割合が1割の方は、平成24年度も1割のままとりましたので、正しい負担割合を記載した受給者証を3月下旬ごろに送付します。

負担割合が3割の方は変更ありません。平成24年7月31日までそのままお使いください。

3月末になっても届かないときや、記載内容などに誤りがあるときは、住民生活課(☎0859-54-5210)へご連絡ください。

医療機関の適正受診に

ご協力をお願いします

保険料や窓口負担として皆さまにご負担いただく医療費を有効に活用するため、医療機関・薬局を受診等する際には、以下のことに気をつけましょう

・重複受診はやめ、「かかりつけ医」を持ちましょう

重複受診は、医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬によりかえって体に悪影響を与えてしまうなどの心配もあります。自分や家族の健康状態を把握してくれる信頼できる「かかりつけ医」を持ち、気になることは「かかりつけ医」に相談しましょう。

・緊急の場合を除き、平日の時間内に受診しましょう

時間外受診は、医師にとっても負担になりますし、割増料金となり、自己負担も大きくなります。また、急病人の治療に支障をきたす恐れもあります。休日・夜間に受診しようとする際には、平日の診療時間内に受診できないか、

もう一度考えてみましょう。

・薬の適切な用量・用法を守りましょう

体調がすぐれないとき、薬はとても頼りになる存在です。しかし、適切な用量・用法を守らないと、薬が効かなかったり、体に悪影響を与えたりします。薬をもらうとき、ほかに服用中の薬があれば、その旨をお医者さんや薬剤師さんに報告しましょう。

・ジェネリック医薬品を利用しましょう

特許期間を過ぎた新薬と同じ効能・効果を持つジェネリック医薬品なら費用が安くなることもあります。利用を相談してみましょう。

・休日や夜間の子どもの急な病気で心配なときは、電話相談ができます

◆「小児救急電話相談」

#8000

※ダイヤル回線・IP電話・プッシュ回線からは

☎03-5276-9137



平成24年 前期 農作業標準労働賃金協定表

平成24年4月～8月末まで

作業名	協定額(税込み)	摘要
田植え 機械植え(10a当たり)	6,500 円	1. 側条施肥付500円加算
一般労務	800 円	1. 1時間当たりの料金 2. 時間経過の際は適時加算 3. 葉たばこ・ネギ調理含む
耕耘機・トラクター 荒起	6,000 円	1. 農地の状況により適宜加算
こなし	3,600 円	
代かき	5,000 円	
こなし・代かき同時(10a 当たり)	7,000 円	
堆肥 散布	1,500 円	1. 1t当たりの料金 2. 堆肥料金は別途料金
あぜ草刈(1時間当たり)	1,800 円	1. 機械代・燃料代含む
あぜ塗り(1m当たり)	100 円	
薬剤散布(10a 当たり)	1,000 円	1. ナイアガラ散布(機械代・燃料代含む)
追肥(10a 当たり)	800 円	1. 機械代・燃料代含む

※消費税総額表示

農作業標準労働賃金協定額

平成24年度の前期農作業標準労働賃金協定額が決まりました。適用期間は4月～8月末です。

◆問い合わせ先

農業委員会事務局

☎0858-58-6115

この協定額は全町の標準額です。地区・農地の状況によっても異なるので、この労働賃金表を参考に、話し合いによって決めてください。

☎0859-37-5814



犬の登録と狂犬病予防注射

月 日	時 間	場 所
4月 3日(火)	13:30~14:00	中山ふれあいセンター
	14:30~15:10	農協旧上中山支所
4月 4日(水)	13:20~14:10	農協旧逢坂支所
	14:30~14:50	中山公民館
	15:10~15:30	大山町役場中山支所
4月 5日(木)	13:30~14:00	梶原公民館
	14:20~15:00	古文原ふるさと会館
4月 6日(金)	13:30~14:10	御来屋漁村センター前
	14:30~15:10	農協旧光徳支所前
4月 9日(月)	13:30~14:50	高麗コミュニティセンター
4月10日(火)	13:30~14:40	大山公民館
4月11日(水)	13:30~14:10	中高ふれあい文化センター
	14:30~15:30	大山農村環境改善センター
4月12日(木)	13:30~13:55	赤松公民館
	14:15~14:25	大山自治会館
	14:55~15:20	香取開拓農協
6月 4日(月)	13:30~13:40	大山町役場中山支所
	14:10~14:40	大山町役場本庁
	15:10~15:30	大山公民館

生後91日以上飼育した犬には、生涯に1回の飼育犬登録と、毎年1回の狂犬病予防注射を受けることが法律で義務付けられています。

犬を飼っている方は、お近くの会場で、必ず、すべての飼育犬の登録と予防注射をさせていただきます。

◆日程 左表のとおり

◆対象となる犬 生後91日以上飼育した犬

◆料金

①登録済みの犬 2,950円

(注射料2,400円+注射済票交付手数料550円)

②初めて登録する犬 5,950円

(上記の料金+登録料3,000円)

③犬標識 80円

(初めて犬を飼うなど必要な場合)

◆持参するもの

・犬の登録証を必ずお持ちください。

・狂犬病予防注射は、動物病院でも受けることができます。動物病院から発行される「狂犬病予防注射済証」を役場または各支所へ持参してください。

・犬の死亡や住所地・所有者など変更があったときは、下記の問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

◆問い合わせ先

住民生活課

☎0859-54-5210

中山支所総合窓口課

☎0858-58-6111

大山支所総合窓口課

☎0859-53-3311

飼えなくなつた犬・
ねこの引き取り

飼育犬・飼育猫の引き取りは西部総合事務所でおこなっています。

◆引き取り場所・問い合わせ先
西部総合事務所生活環境局生活安全課(米子市糺町1丁目160番地)

☎0859-31-9320

「みのりの素」の
価格が変わります

下水汚泥を利用した堆肥「みのりの素(有機質肥料)」の価格が平成24年4月1日から変更されます。

○袋入り(15kg)

200円/袋↓250円

○バラ(配達)

6,600円/ト↓7,700円

○バラ(工場渡し)

6,000円/ト↓7,000円

※3月末までに予約されたものでも、平成24年4月1日以降の引き渡しであれば変更価格での販売となります。

◆問い合わせ先 水道課

☎0859-54-5204

平成24年度
大山町特定新規
学卒者就職促進
奨励金

中学校・高等学校・専門学校などを新規に卒業される方のうち、身体障害者手帳を持ち、就職される方に、就職促進奨励金を支給します。

◆支給額 25,000円

◆手続期限 4月30日(月)

◆対象者

次のいずれかに該当する方(保護者または世帯主が大山町内に住所がある方)

○身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方

○社会的な事情により就職が著しく阻害されている方

◆申請先

人権推進課または各支所総合窓口課

◆必要なもの

印鑑

身体障害者手帳など採用通知書など

◆問い合わせ先

人権推進課

☎0859-54-2286

お知らせ

子ども手当の申請はお済みですか？

平成23年10月1日の時点で受給資格のある方で、平成24年3月末までに申請されなければ、10月分からの手当を受け取ることができません。申請されていない方は、お急ぎください。

◆問い合わせ先 住民生活課
☎0859・54・5210

竹林を整備しましょう

近年、放置された竹林の拡大で、森林環境の悪化が見られます。大山町では、竹林を整備する活動に対して支援をします。

この機会に放置された竹林を整備しましょう。

◆事業内容 竹林の間伐及び皆伐。(ただし、皆伐は伐採後植栽をせず、竹材利用等のために行う皆伐です)

◆要件 適正な管理がされず、放置されている竹林であること。

1 施行地の面積が0.1ha(1

反)以上。ただし、皆伐については1.0ha(10反)未満。(スギ・ヒノキ等の人工林に侵入した竹の伐採は当事業では対象外です)

◆事業実施主体 森林所有者、森林組合、森林整備を実施する団体など

◆実施期間 平成24年度

◆補助率 事業費の85%

◆申込期限 3月30日(金)

◆申込・問い合わせ先

農林水産課
☎0858・58・6116

4月からスタートします

森林の所有者届出制度

森林法改正により、4月以降、新たに森林の土地の所有者となる方は市町村長への届出が義務付けられました。

◆届出対象者

個人・法人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方。(ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出している方は対象外です)

◆届出期間

土地の所有者となった日から90日以内。

◆届出方法

役場本庁・支所に備え付けの届出書を農林水産課に提出願います。(添付書類として、登記事項証明書の写し、土地の位置を示す図面)

◆問い合わせ先 農林水産課
☎0858・58・6116

大山町

交通災害共済

平成23年度にご加入の『交通災害共済』は、3月末日で有効期限が切れます。

平成24年度分については、区長さんに申し込み用紙の配布をお願いしています。万が一に備えて家族そろって加入しましょう。

◆保障内容

交通事故によって生じた死亡、障害、入院、通院について、共済金をお支払いします。

◆加入条件

町民の方なら年齢、健康状態を問わず、どなたでも加入いただけます。

◆掛け金

1年契約で1口1,000円
*1人3口まで加入できます。

◆共済金*1口加入の場合
・死亡 100万円

・入院 1日につき2,000円

・通院 1日につき1,000円

◆加入手続き

加入申込書に必要な事項を記入、押印し、掛け金を添えて区長さんまたは役場企画情報課もしくは各支所総合窓口課へ提出してください。

◆手続期限 3月15日(木)

*年度中の加入もできます。

◆共済金の請求手続き

共済金の請求には次の書類が必要です。(①・②・⑤については、企画情報課および各支所総合窓口課にあります)

①共済金支払請求書

②事故発生通知書

③交通事故証明書(自動車安全運転センター発行のもの)

④医師の治療証明書

⑤承諾書

詳しくはお問い合わせください。



◆問い合わせ先

企画情報課
☎0859・54・5202

募集

平成24年度 就農活動支援事業 受講生募集

町内在住で、将来的に専業で梨栽培を中心に農業を行いたいと考えている方、またすでに現在、梨栽培を始めているが栽培経験年数が短い方を対象に、次のとおり講習を行います。

梨での就農を応援しますので、ぜひお申し込みください。

◆対象作物 梨

◆講習内容 4月に講演と説明をしたあと、月1回のペア入で年間10回、交配作業から収穫、春先の管理までの実地講習を行います。

◆講師 大山果実部(農業者)、大山農業改良普及所(改良普及員)

◆受講料無料

ただし、講習で使用する道具、視察費用は各自負担

◆募集期限 3月12日(月)まで

◆初回講習 期日:4月中旬

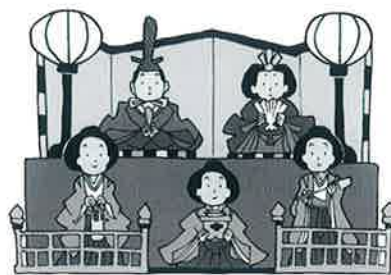
場所 役場本庁会議室

◆申込・問い合わせ先

農林水産課
☎0858・58・6116

3

2012. March



広報だいせん 大山町行事カレンダー

主な連絡先

■大山町役場（本庁）

TEL 0859 - 54 - 3111（代表）

総務課 TEL 0859 - 54 - 5201

税務課 TEL 0859 - 54 - 5208

住民生活課 TEL 0859 - 54 - 5210

会計課 TEL 0859 - 54 - 5209

企画情報課 TEL 0859 - 54 - 5202

議会事務局 TEL 0859 - 54 - 5213

中山支所

TEL 0858 - 58 - 6111（代表）

総合窓口課

戸籍・住民関係 TEL 0858 - 58 - 6114

福祉関係 TEL 0858 - 58 - 6112

農林水産課 TEL 0858 - 58 - 6116

農業委員会 TEL 0858 - 58 - 6115

地籍調査課 TEL 0858 - 58 - 6113

大山支所

TEL 0859 - 53 - 3311（代表）

総合窓口課 TEL 0859 - 53 - 3311

建設課 TEL 0859 - 53 - 3186

観光商工課 TEL 0859 - 53 - 3110

（財）大山恵みの里公社 TEL 0859 - 54 - 6600

名和分庁舎

水道課 TEL 0859 - 54 - 5204

■人権交流センター

人権推進課 TEL 0859 - 54 - 2286

■保健福祉センターなわ

保健課 TEL 0859 - 54 - 5206

福祉介護課 TEL 0859 - 54 - 5207

地域包括支援センター TEL 0859 - 54 - 2226

■福祉センターなかやま

TEL 0858 - 49 - 3000

■保健福祉センターだいせん

TEL 0859 - 39 - 5018

■中山農村環境改善センター

TEL 0858 - 58 - 6124

■教育委員会

学校教育課 TEL 0859 - 54 - 5211

幼児教育課 TEL 0859 - 54 - 5219

社会教育課 TEL 0859 - 54 - 5212

■教育研究所

TEL 0859 - 54 - 5221

■中山公民館

TEL 0858 - 58 - 2334

■名和公民館

TEL 0859 - 54 - 2688

■大山公民館

所子分館 TEL 0859 - 53 - 3003

大山分館 TEL 0859 - 53 - 8139

高麗分館 TEL 0859 - 53 - 4167

■町立図書館

TEL 0858 - 49 - 3010

名和分館 TEL 0859 - 54 - 2688

大山分館 TEL 0859 - 53 - 3003

■小・中学校

中山小学校

TEL 0858 - 58 - 2439

名和小学校

TEL 0859 - 54 - 2070

大山西小学校

TEL 0859 - 53 - 3228

大山小学校

TEL 0859 - 53 - 3104

中山中学校

TEL 0858 - 58 - 2014

名和中学校

TEL 0859 - 54 - 2024

大山中学校

TEL 0859 - 53 - 3020

日	月	火	水	木	金	土
なかやま公民館まつり 9:00~16:00 生活想像館 「雑誌リサイクル市」 9:00~17:00 名和公民館	心配ごと相談 9:30~12:00 各福祉センター 行政相談 9:30~12:00 福祉センターなかやま 人権相談 13:30~16:00 中山支所 認知症の人と家族の会 14:00~15:30 保健福祉センターだいせん	お茶サロンひだまり 10:00~11:30 ふれあい会館 栄養相談 13:45~15:00 保健福祉センターなわ			3B体操 9:30~11:00 中山農村環境改善センター すくすく広場 10:00~11:30 ふれあい会館	
行政相談 9:30~12:00 名和公民館	3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターなわ	おはなしの会 10:30~11:30 ふれあい会館	心の健康相談 13:30~16:00 保健福祉センター *3月2日までに要予約	デイケア 13:30~15:30 保健福祉センターだいせん	3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターだいせん すくすく広場 10:00~11:30 ふれあい会館	雑誌リサイクル市 9:00~17:00 大山公民館 おはなし図書館 14:00~14:30 図書館本館
雑誌リサイクル市 9:00~17:00 大山公民館		「子育て講座」 10:00~11:30 保健福祉センターなわ	人権相談 9:00~12:00 人権交流センター 13:00~16:00 大山公民館 保育所開放日 10:00~11:00 各保育所 行政相談 13:00~16:00 大山公民館	心配ごと相談 9:30~12:00 各福祉センター	3B体操 9:30~11:00 中山農村環境改善センター 育児学級 10:00~11:30 保健福祉センターなわ	ちいさなおはなし会 11:00~11:30 大山公民館
	認知症の人と家族の会 10:00~12:00 中山農村環境改善センター	春分の日			3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターだいせん 「赤ちゃんハイハイ競争」 10:00~11:30 保健福祉センターだいせん 健康相談 13:30~14:00（受付） 保健福祉センターなわ	
こころの健康フェア 12:30~17:00 保健福祉センターなわ	行政相談 9:30~12:00 福祉センターなかやま 心配ごと相談 9:30~12:00 各福祉センター 3B体操 9:30~11:00 保健福祉センターなわ 人権相談 13:30~16:00 中山支所 認知症の人と家族の会 14:00~15:30 保健福祉センターだいせん	栄養相談 13:45~15:00 保健福祉センターなわ	法律相談 9:30~11:00 福祉センターなかやま 保育所開放日 10:00~11:00 各保育所	デイケア 13:30~15:30 保健福祉センターなわ		

*子どもの健診・予防接種・各種がん検診の日程は裏面をごらんください。

3月1日～4月10日までのお知らせを載せています。

子どもの健診・予防接種のお知らせ

種 別	月 日	場 所	受付時間	対 象	その他
健 診	乳幼児健診	3月22日(木)	保健福祉センター だいせん	13:00～14:30	3か月～2歳6か月 母子健康手帳をお持ちください
	1歳6か月児・ 3歳児健診	3月14日(水)	保健福祉センター だいせん	13:00～13:30	1歳6か月児・ 3歳児 個人通知します
予 防 接 種	B C G	3月27日(火)	保健福祉センター なわ	13:00～13:30	3か月～6か月未 満の未接種者 個人通知します
	ポリオ	4月 6日(金)	保健福祉センター だいせん	13:00～13:30	3か月～7歳6か 月未満の未接種者 個人通知します

※1歳6か月児・3歳児健診についての注意事項
お住まいの各地区（大山・名和・中山）で受けることが基本になります。
他の地区でも受けられますが、その場合申し込みが必要になります。保健課にご連絡ください。

健康づくり、健康相談、介護予防教室のお知らせ

種 別	月 日	場 所	時 間	内 容
3 B 体操	3月 2日 (金) 3月16日 (金)	中山農村環境改善センター	9:30～11:00	ストレッチ体操、ベル・ベルター・ ポールを使って音楽にあわせ体 を動かします。 運動のできる服装で水分をお持ち になり、お出かけください。
	3月 5日 (月) 3月26日 (月)	保健福祉センターなわ	9:30～11:00	
	3月 9日 (金) 3月23日 (金)	保健福祉センターだいせん	9:30～11:00	
大山町包括支援 センター医師 健康相談	3月23日 (金)	保健福祉センターなわ	(受付) 13:30～14:00	骨密度測定、骨に関する相談。 医師・保健師・栄養士による各種 疾病の相談。どなたでも利用でき ますのでお出かけください。
認知症の人と家 族の会	3月19日 (月)	中山農村環境改善センター	10:00～12:00	介護で疲れていませんか？日頃の 悩みを話し合い、励まし合う時間 を持ちましょう。 お気軽にご参加ください。
	3月26日 (月)	保健福祉センターだいせん	14:00～15:30	

心の健康相談・事業のお知らせ

種 別	月 日	場 所	時 間	内 容
デイケア	3月 8日 (木)	保健福祉センターだいせん	13:30～15:30	来年度の予定表づくり
	3月29日 (木)	保健福祉センターなわ	10:00～13:00	調理実習
	4月 5日 (木)	保健福祉センターだいせん	13:30～15:30	お花見
心 の 健康相談	3月 7日 (水)	保健福祉センターなわ	13:30～16:00 ※3月2日(金) までに予約が必 要です	精神科医師が相談を受けます。 よく眠れない、家にひきこもっている、何もする気がしない、お酒を止 めたいのに止められない、イライラする、検査では異常がないのに体 調が悪いなど、心の悩みに関することがありましたら1人で悩まず気軽 にご相談ください。個人の秘密はかたく守られます。
こころの 健 康 フ ェ ア	3月25日 (日)	保健福祉センターなわ	12:30～17:00	12:30～13:00 もちつき 講演「やさしさ」について～秋田の自殺予防活動から見てきたもの～ 講師：秋田県心といのちを考える会代表 橋田俊英氏 トーク&ライブ シンガーソングライター Dr.YUBI *託児もありますが、託児希望の方は3月8日（木）までにお申し込みく ださい。受け入れ人数に限りがあります。

☆あそびにおいでよ！大山町ふれあい会館 TEL 0859-54-2395
地域子育て支援センター 開館時間 月曜日～金曜日（祝日は除く）8:30～17:15、第2土曜日 8:30～13:30 ○子育て中のふれあいの場として、いつで
も保護者同伴で、自由に楽しむことができます。（おもちゃ・絵本・遊具あり）○行事はどなたでも参加できます。 ○いつでも子育て相談できます。（個
別相談もできます） ○たんば通信（月1回）発行

その他の教室・相談のお知らせ

種 別	月 日	場 所	時 間	対 象	内 容
育児学級	3月16日 (金)	保健福祉センターなわ	(受付 9:45～) 10:00～11:30	保育所に行ってい ない親子	ひなまつり、 巣立ちの会
すくすく 広場	3月 2日 (金) 3月 9日 (金)	ふれあい会館	10:00～11:30	保育所に行ってい ない親子と妊産婦	季節のあそび
子育て 講座	3月13日 (火)	保健福祉センターなわ	(受付 9:30～) 10:00～11:30	※託児をご希望の 方は3月6日(火) までにお申し込み ください	講師 田丸尚美氏 福山市立女子短期大学 准教授
栄養相談	3月27日 (火)	保健福祉センターなわ ※B C G 予防接種の場で行います	13:45～15:00	3か月～1歳児の 保護者	離乳食のミニ講話、栄 養士、保健師の相談

予防接種について

☆麻しん風しん予防接種はお済みですか？
今年度年長児・中学校1年生・高校3年生の方が無料で接種できる期間は、平成24年3月31日までです。
まだの方は、早めにお受けください。
なお、24年度対象となられる方には後日個人通知をします。

☆インフルエンザ予防接種費用の助成について
今年度、大山町では生後6か月から中学生の方・妊婦の方を対象にインフルエンザ予防接種費用の助成を行って
います。接種を受けられて申請がまだの方は、3月末までに手続きをお願いいたします。
助成対象者：生後6か月～中学生の方・妊婦の方で、接種を希望される方
助 成 内 容：自己負担額 1回につき1,000円（ただし生活保護世帯の方は無料）
助 成 方 法：予防接種費用全額を医療機関の窓口でお支払いいただき、町へ償還払いの手続きをしてください。自己
負担額を差し引いた額を償還払いします。

☆ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチン接種の助成について
平成24年度も助成事業を継続することになりました。対象は以下の通りです。
ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン：2か月齢以上5歳未満の方
子宮頸がんワクチン：平成24年度において13～16歳（中学1年生～高校1年生相当）となる女子。今年度新た
に対象となる方には、後日関係書類をお送りいたします。
※ただし、平成24年度において17歳となる女子（高校2年生相当）については、平成23
年度中に本事業による接種を受けている場合には残りの接種について対象となります。

(問い合わせ・相談先)
☆子どもの健診・予防接種、健康診査、各種がん検診、健康相談、心の相談、健康づくりなどに関することは
保健福祉センターなわ内 保健課
TEL 0859-54-5206
☆介護保険、介護予防などに関することは
保健福祉センターなわ内 地域包括支援センター
TEL 0859-54-2226
TEL 0859-54-5207



市橋有里
(いちはし・あり)

1999年、世界陸上競技選手権セビリヤ大会で銀メダルを獲得し、世界大会のマラソンでは、史上最年少のメダリストとなった。2000年シドニーオリンピックにも出場。

今年もハーフマラソンからジョギングまでの種目を設けています。招待選手は市橋有里さんです。みなさんご参加をお待ちしています。

5月20日(日)

名和マラソン フェスタ2012

開催

- ◆日時 5月20日(日) 10時30分スタート
- ◆会場 名和総合運動公園
- ◆種目および参加料
- ハーフマラソン男女(高校生以上) 3,000円(ただし高校生1,500円)
- 10km男女(高校生以上) 2,500円(ただし高校生1,500円)
- 5km男女 高校生以上 1,500円、中学生以下1,200円
- 1.7kmジョギング1,200円
- 1.7kmペア2,000円(2人1組)
- ウォーキング8.2km・3.8km 1,200円
- ◆申込み方法 大会要項の払込取扱票に必要事項を記入し、郵便局に参加料をお支払いください。要項は、町内各施設にあります。
- ◆申込期限 3月22日(木)当日消印有効
- ◆大会事務局 大山町教育委員会事務局 社会教育課 0859-54-5212

第22回 因伯シルバー大会 出場者募集

スポーツや文化活動を通して、県内の高齢者同士の交流の輪を広め、健康と仲間づくり、生きがいづくりを促進する因伯シルバー大会の参加者を募集します。

◆応募資格 県内在住の60歳以上の方

◆競技 全11種目(卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、グラウンド・ゴルフ、囲碁、将棋)

◆日時 5月中旬 ※種目によって日程が異なります。

◆会場 鳥取県西部地区を中心に実施予定

◆応募方法 所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、FAX又は郵送でお申し込みください。

◆応募期限 4月20日(金)

◆問い合わせ先

(社)鳥取県社会福祉協議会

0857-59-6338

http://www.tottori-we.or.jp(鳥取ことぶきネット)

大山チャンネル 番組放送予定

3月

1日~31日

デジタル 113ch

アナログ 3ch

●テレビの電子番組表(EPG)と大山町ホームページで内容をご確認いただけます。

●番組開始時間

番組開始時間 放送期間	5:50 / 11:50 / 14:50 / 19:50	6:00 / 12:00 / 15:00 / 20:00 / 24:00	7:00 / 13:00 / 16:00 / 21:00 / 25:00
3月 1日~3月10日	【大山賛歌体操】 介護予防編 健康づくり編	じげとびっく3月号1	じげとびっく2月号3
3月11日~3月20日		じげとびっく3月号2	じげとびっく3月号1
3月21日~3月31日		じげとびっく3月号3	じげとびっく3月号2

番組以外の時間帯は、文字情報で行政情報を提供しています。番組の内容は都合により予告なく変更することがありますのでご了承ください。

【生中継】3月定例議会 放送予定

3/2(金) 9:55~ 第1日 開会、諸般等の報告、議案の提案説明
3/5(月) 9:25~ 第2日 質疑、予算等審査特別委員会設置・付託
補正予算は質疑・討論・採決まで
3/6(火) 9:25~ 第3日 質疑予備日、補正予算は採決まで
3/14(水) 9:25~ 第4日 一般質問

3/15(木) 9:25~ 第5日 一般質問
3/23(金) 9:25~ 第6日 予算等審査特別委員会報告、
討論・採決、閉会

※録画放送の日程は、決まり次第文字情報画面などでお知らせします

◆問い合わせ先 企画情報課情報管理室 ☎0859-54-5202

大山恵みの里だより vol. 49

問い合わせ先
大山恵みの里公社
☎0859-54-6600

●大山恵みの里づくりセミナーのお知らせ

食品表示、商品開発に関するセミナーを行います。ふるってご参加ください（参加費は無料ですが、事前の申込が必要です）。

◆対象

・食品（加工食品）の生産者、または生産を考えている方
・大山町民、または町内で仕事をしている方

「セミナー内容」

①3月7日（水）

食品表示セミナー

わかりづらい法律が入り交じる「食品表示」のポイントを実例を交えてわかりやすく説明します。

②3月9日（金）

商品開発セミナー

売れる商品・特産品の開発のポイントや価格設定の仕方など「消費者目線のものづく

り」をキーワードに説明します。

◆会場・時間（①②とも）

会場 保健福祉センターなわ
時間 18時30分～20時30分

◆講師：立原英夫さん（株式会社わきあいあい 取締役相談役）

◆申込・問い合わせ先

各回、開催の2日前までに、大山恵みの里公社・本部へお申し込みください。

☎0859-54-6600
（担当：金田）

★道の駅 イベント続々！

○震災復興応援トラック市

東北の物産を満載した移動販売トラック「LOVE東北号」がやってきます。

◆日時 2月29日（水）

10時～15時

○県内一斉道の駅まつり

6月に鳥取で開催されるB1グランプリの出展店舗自慢のご当地グルメがひと足先に楽しめます！（4～6店を予定）

◆日時

3月24日（土）・25日（日） 各日10時～15時

大山プロッコリー料理研究会

会員募集

大山プロッコリー井戸端サポーター
会議では、大山プロッコリーを消費者のみなさんにより親しんでもらおうと料理研究会を立ち上げました。

現在、6人の会員で、プロッコリー料理のメニュー開発をしています。

今後は、メニュー開発だけでなく県内外に出かけて大山プロッコリーのPRをします。

◆募集期限 3月30日（金）まで

◆申込・問い合わせ先

JA鳥取西部 大山営農センター（予冷センター）

☎0858-58-2875
（担当：松倉）

春の火災予防運動 3月1日～7日 「消したはず 決めつけないで もう一度」 つけていますか？ 住宅用火災警報器

大切な命、財産を守りましょう

◆問い合わせ先
大山消防署 ☎0859-39-5002



編集後記

夜なべをしながら囲炉裏端で、布団の中で寝る前に：：といった中で繰り返し語られてきた「昔話」。農村での伝承的な語り手はほとんどいなくなり、ストーリーテリングといって、本からおぼえて語る人が増えています。

生涯学習大会で3人の方がストーリーテリングの実践発表をされました。「むかし、あるところに：：。」と聞くと昔話の世界にポーンと行くことができるのは不思議ですね。

（ひろ）



大山町広報 3月号 No.103

◆発行：大山町役場

◆編集：企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-5216

大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社

私たちのまち（2月1日現在）

○人口：17,997人（-10）

男：8,568人（-2）

女：9,429人（-8）

○世帯数：5,839世帯（-3）

申込みお待ちしております！



「ロッコ」と「リープ」



この印刷物は
大豆インキを使用しております。